

自転車道橋梁における個別施設計画

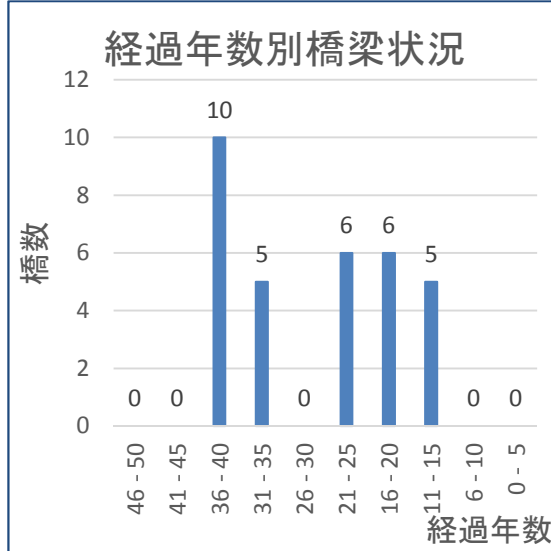
～群馬県が管理する自転車道橋梁について平成25年度に、損傷の度合いを調査し、個別施設計画を策定しました～

背景・目的

県が管理する自転車道(利根川自転車道、高崎伊勢崎自転車道、桐生足利藤岡自転車道)には32橋の自転車道橋梁が存在するが、計画的に維持管理されていなかった。そこで第三者被害等を未然に防ぐため、上記自転車道の点検を行い、現状を把握し、今後の維持管理計画を策定した。

○対象自転車道橋梁

- ・利根川自転車道 17橋
- ・高崎伊勢崎自転車道 15橋
- ・桐生足利藤岡自転車道 0橋



調査のポイント(着眼点)

○主な調査方法

橋梁の長寿命化の観点から、
 ・近接目視
 ・叩き点検(打音調査)を行い、
 ・鋼部材の腐食・防食機能の劣化
 ・コンクリート部材のひびわれ、浮き・はく離・鉄筋露出
 ・漏水、遊離石灰
 などに着目し、橋梁を構成する各部材の損傷状況毎に損傷状況の評価を行った。

○損傷状況

自転車道橋梁における損傷に共通性は無かった。
 点検結果事例として、
 03-04 北向橋 : はく離・鉄筋露出(写真1)
 04-07 水路横断橋 : 鋼部材の防食機能劣化(写真2)が上げられる。

03-04 北向橋



写真1

04-07 水路横断橋



写真2

点検方法 → [群馬県橋梁点検要領(案)]
 平成23年 1月 群馬県県土整備局道路整備課

調査結果

○損傷判定基準『C』評価を予防保全の観点から順次補修を行う。

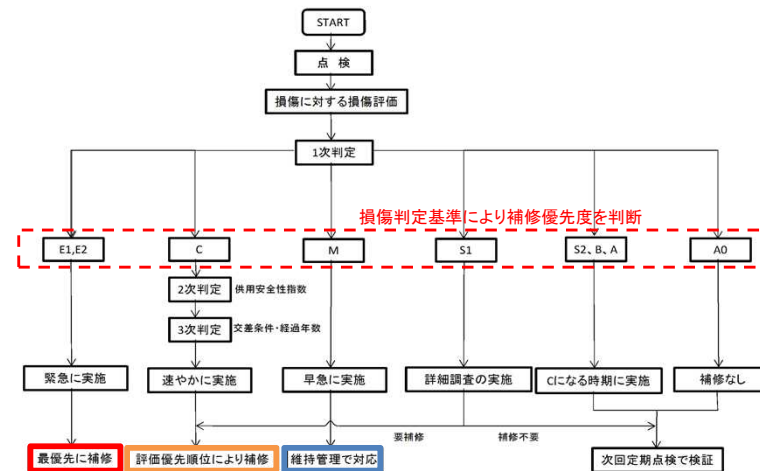
表 補修・維持工事が必要な橋梁数 (E、C、M判定合計)

自転車道	土木事務所	橋数	概算工事費(千円)
利根川自転車道線	渋川土木事務所	9	16,580
	前橋土木事務所	2	1,840
	伊勢崎土木事務所	1	2,840
高崎伊勢崎自転車道線	高崎土木事務所	7	12,940
	伊勢崎土木事務所	5	8,360
合計		24	42,560

※工事費はあくまで概算費です。

全32橋中、予防保全の観点で、補修が必要な橋梁は、24橋であった。
 M判定については、通常の維持工事範囲で対策を行う。
 『S1以下』補修不要

維持管理計画



E1,E2判定の場合、橋梁構造に問題が生じているため、**緊急に**補修を行う必要がある。

C判定の場合、**5年以内**に補修されることが望ましい。優先度の高い橋梁から補修を行う必要がある。

M判定の場合、**第三者被害を考慮した優先度**による維持工事に対応する必要がある。